

歯科矯正治療について

1. 狭窄歯列(窮屈な歯並び)の原因と早期(小児期)に矯正をする意義

狭窄歯列の原因には、「遺伝的要因」と「環境的要因」があります。子供の顔が親の顔に似るのは顎の形などの骨格が似ている(遺伝的要因)からで、少なからず歯並びもその影響を受けています。しかし、その反面、顎の成長は顔面周囲の筋肉の影響も受けており、筋肉は生まれた後の環境に左右されやすい(環境的要因)ので両親の歯並びはきれいなのに、お子様に狭窄歯列が見られた場合は生活習慣や癖が筋肉に悪い影響を及ぼしている可能性があります。

主には、

- ①軟食が多いため噛む力が弱く筋肉が発達しない
- ②唇が閉じていない(口呼吸をしている)
- ③舌の位置や動きが正常でない
- ④舌を突き出したり、唇を咬む癖がある

などです。

本来、歯は口の周囲の筋肉と舌の筋肉とのバランスがとれたところに並びます。このどちらの筋肉に異常があっても歯は正常に並びませんし、顎(あご)の骨も十分に成長しません。

小児期からの早い時期にこれらの筋肉を正常に機能させることで、顎の成長や歯並び、ひいては顔や頭(脳)までも自然と良い方向に成長を促すことが可能となります。

小児期の矯正治療は「歯並び」だけでなく「筋機能の改善」も目的とした治療法ですので、できるだけ早期に開始することが望ましいのですが近年では、成人期の顎拡大矯正も特殊な装置により可能になってきました。(SH療法)

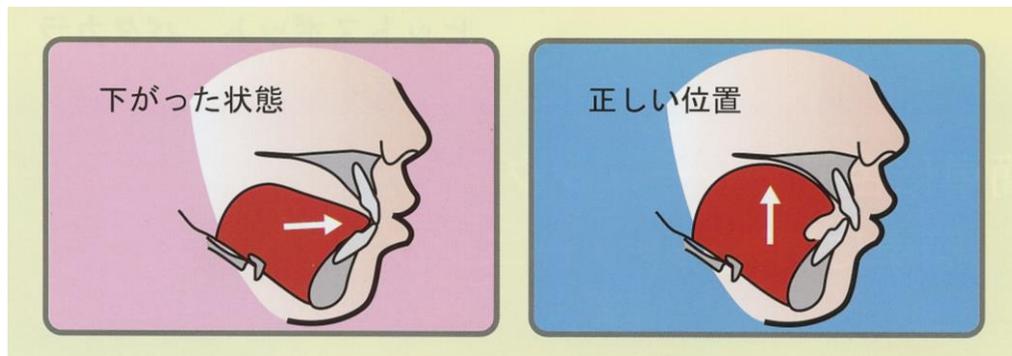
また、従来の矯正のように抜歯をすることも少なくなっておりますので、必ずしも「大人だから矯正はできない。」、「大人だから歯を抜かなければならない。」ということはございませんので、お悩みの方はお気軽にご相談ください。

唇が開いている(口呼吸している)状態



* 正常な場合、安静時には唇は閉じており鼻呼吸しています。

舌の位置異常



* 正常の場合、安静時に舌は上顎に軽く接しています。
唾液や食物を飲み込む場合もこの位置にある必要があります。

悪い癖



舌を突き出す癖



唇を咬む癖

正しく噛む習慣を身につけましょう



矯正治療後は少なからず「後戻り」をします。この「後戻り」をなるべく最小限に抑えるには

正しい噛み方を身につけることです。

なるべく噛みごたえのあるものを「前歯で噛み切り」「奥歯ですりつぶすように」食べることで、歯や顎が刺激され安定してきます。

お勧めのものは、**フランスパン**や**するめイカ**です。

トレーニングガムなどもありますので、当院スタッフにお声かけください。

これらを前歯・左右奥歯で均等に「**すりつぶす**」ように約 10 分間良く噛むことを意識します。

1日2回(計約20分間)行うことが目安です。

この時、口を開けてクチャクチャと噛まず、**唇が閉じている**ことを確認してください。



噛むトレーニングガム「デイ・アップ」

2.適応年齢

乳歯～永久歯が生えそろうまでの5才～12才位までの顎の成長期に行うことが望ましいですが、成人期でも治療は可能です。

3.矯正治療装置の種類

①筋機能訓練用装置(100,000 円)(税別)・・・主に小児期に使用

唇や舌の筋肉を正常に機能させるための装置です。
他の装置と併用する場合があります。



②透明マウスピース矯正(アソアライナー)(80,000 円～)(税別)

従来の矯正はブラケット(矯正ワイヤーを歯に固定する器具)を使用しておりましたが、アソアライナーで治療すると目立たないため、矯正治療をしている事に気づかれません。製作にはコンピューターを使用しますので、とても正確に作られます。

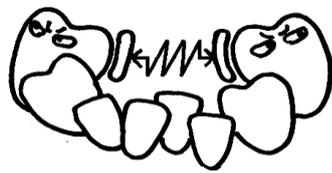
日常会話も問題なく、食事の時に取り外しができるため、ストレスがありません。
アソアライナーは比較的軽度の不正咬合で、3ヶ月～1年位で終了できるケースに用います。



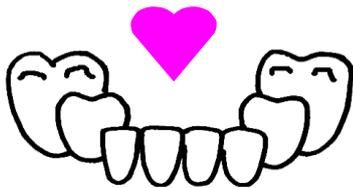
③SH療法(顎拡大療法)(260,000円～)(税別)

軽度～重度の狭窄歯列で「筋機能訓練用装置」だけでは十分な結果が得られない場合、金属のバネで固定させる「取り外し式の装置」を使用します。そして、装置に埋め込まれたスプリングによって積極的に顎の拡大を行い歯が並ぶすき間を確保していきます。

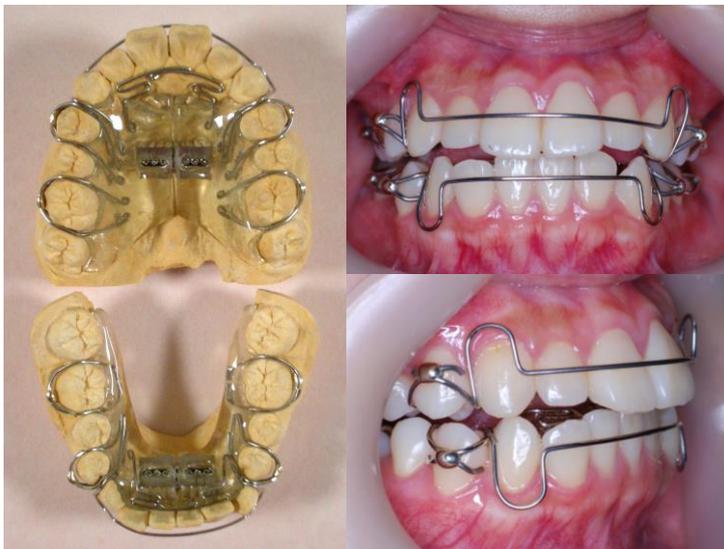
『スライデックス』という
スプリングが組み込まれた特殊
な装置を使用します



スプリングで狭い
歯並びを広げます



快適な口になります



実際の顎拡大装置

*これらの装置を装着しながら唇の筋肉を強くしたり、舌の位置や動きを正常にするためのトレーニングも併用して行います。

4.矯正治療の利点

- ・なるべく早い時期から行うことでほとんどのケースで歯を抜かないで済みます。
成人矯正においても歯を抜かずに治療することを基本としています。
- ・小児期からの矯正治療では、顔や頭(脳)も良い成長を促すことができます。
- ・悪い歯並びは全身的な健康にも影響します。狭いアゴを改善することで、以下のような様々な疾患や症状の改善が認められたとの報告があります。
 - ◆ むし歯・歯周病
 - ◆ 顎関節症
 - ◆ 睡眠時無呼吸症候群、いびき、口呼吸
 - ◆ 鼻づまり、鼻炎、鼻中隔湾曲症、副鼻腔炎
 - ◆ 頭痛、めまい、首や肩のこり、腰などの痛み
 - ◆ 発音障害、口臭
 - ◆ 歯並びが悪いための心理的影響・・・など

5.「取り外し式」矯正治療の欠点

- ・装置のほとんどが「取り外し式」のため、長期間はずしてしまうと治療が進みませんので患者様ご本人の「やる気」が一番大切になります。また、ご家族の協力も必要です。

6.治療期間

- ・顎の大きさや歯並びの状態、唇や舌の状態によって治療期間は違ってきますが小児期からの矯正では通常、上下の永久歯が生えそろう15～16才位までは装置を装着する必要があります。
- ・成人の場合は3～5年が平均的な治療期間です。
***基本的に装置は睡眠中を含めて1日8～10時間装着する必要があります。**
マウスピース矯正では1日12～15時間装着が必要です。

7.治療の流れ

治療のご説明(治療方法、治療期間、料金 等)

↓

レントゲン撮影、写真(口腔内、顔)撮影、型とり

↓

矯正装置装着

↓

調整(1～2ヵ月に1回)

8.治療費

- ・矯正治療費 80,000 円(税別)～
(歯並びの状態や治療を開始する年齢、装置の種類によって異なります)
- ・矯正装置調整管理料 1 回につき 2,000 円(月合計 5,000 円まで)
(月に1～2回来院していただき矯正装置の調整、状態の観察、フッ素塗布を行います)

ご注意

矯正装置が修理不可能な破損、紛失または指示通り装着していただけなく合わなくなり再製作の必要がある場合などは装置製作料が別途かかりますのでご了承ください。

9.資料の活用について

当院では、矯正治療開始時や途中経過、終了時の状態を写真や模型にして保存しております。これらの資料は歯科医療発展のため、学会や講習会等で参考資料として使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あくまでも個人情報ですのでそれ以外に使用することはございません。

◆一般的な料金設定

- * 以下は一般的な「小児矯正(およそ12歳までに治療を開始した場合)」の料金です。
成人矯正もこれに準じますが、歯並びの状態で追加料金が発生する場合がございます。
顎の大きさや歯並びの状態です途中のステージで終了することも可能です。

進行段階	料金(円)
ステージ1	130,000 (税込 14,0400)
ステージ2	130,000 (税込 14,0400)
ステージ3	130,000 (税込 14,0400)
ステージ4	130,000 (税込 14,0400)
合計	520,000 (税込 561600)

* 別途、定期来院時には矯正装置調整管理料がかかります。

10.当院における治療例

◆症例1. 反対咬合(受け口)を筋機能訓練用装置で改善



6歳



10歳

口腔周囲の筋肉のバランスが取れてきたことで、上下の顎が正常に発育し、歯並びも改善しました。

◆症例2. 顎拡大装置で上下の顎を広げることで歯並びを改善



8歳



11歳

上下の顎が小さいため、歯が並びきらずに前後にずれて生えてしまった状態でした。顎拡大装置で顎を広げることで、歯が並ぶスペースを確保し、きれいな歯並びに改善しました。

埼玉県行田市関根 224-1

松井歯科医院

TEL 048-559-0605